

株式会社 エステム

2006 年度

エコ事業所取組みレポート

はじめに

我が社は創業以来一貫して皆さまに環境浄化に関わるサービス、技術を提供して参りました。社会の流れが目まぐるしく変化する現在だからこそ、長い目で世の中を見て、変化に柔軟に対応できる体制をつくりあげることが私たちには求められています。私たちは、必要な時に必要とされる技術や役割を提供できる存在でありたいと願い、努力を重ねています。課題は水のみならず、エネルギーの需給に伴う環境負荷の遞減、将来に対する配慮にまで及びます。私たちは常に一步先へ、技術を磨き、ネットワークを広げ、変化する集団であり続けたいと願っています。

私たちは今後も事業活動が環境に及ぼす影響を把握し、それを評価・是正するとともに、継続的な改善提案活動に取り組んでいきます。

本レポートを通じて、皆さまに当社の取組みをご理解いただくとともに、持続可能な循環型社会を形成していく為に個人がどのように考え行動しなければならないかを今一度立ち止まって考えていただければと思います。

株式会社エステム 代表取締役社長 東口 享

会社概要

商 号	株式会社 エステム
本社所在地	〒457-0821 名古屋市南区弥次工町 2 丁目 9 番地の 1 TEL:052-611-0611(代)、FAX:052-612-9384
設 立	昭和 45 年(1970 年)7 月
資 本 金	資本金 7,000 万円
代 表 者	代表取締役会長 鋤柄 修、代表取締役社長 東口 享
グループ会社 関係会社	(株)エステム三重、(株)エステム長野、(株)アイ・メツ トーエスエンジニアリング(株)、大機工業(株)

経営理念

株式会社エステムは水を中心とする環境文化と、安全で快適な自然環境の創造を通じて社会に貢献します。

環境方針

エステムグループは水を中心とした環境保全事業を推し進めてまいります。経営理念を基に、自然環境、生活環境の保全を具体化するための指針を以下に定めます。

1. 環境関連法規制等の遵守をします。
2. 環境負荷の低減活動を推進します。
3. 啓発活動・ボランティア活動を推進します。
4. 環境保全活動を推進します。
5. 環境方針の周知徹底と情報公開をします。

品質方針

エステムグループは、水を中心とする環境保全事業を展開し、自然環境を守り安全で快適な生活環境づくりに貢献してまいります。

正確さ、誠実さをモットーに「安心」と「信頼」を提供し、「お客様第一主義の徹底」を図ることを基本理念といたします。

この基本理念を達成するために、以下の方針を定めます。

1. サービス・製品に対する顧客要求事項、法的・規制要求事項を常に認識しお客様のお求めになるサービス・製品を提供し、品質管理システムの継続的改善を行い、お客様満足度の向上を図ります。
2. サービス・製品に対して、以下の項目を品質管理重点項目として、社員一人ひとりが責任を持ち、積極的に取り組みます。
 - (1) 納期を厳守します。
 - (2) サービス・製品の品質を第一とするため、顧客要求事項を明確にします。
 - (3) 問題解決力を向上させます。
 - (4) 環境整備を推進します。
 - (5) 組織体制の強化を図ります。
3. 品質方針を達成するために、全社員および関係者にこの方針を周知し、品質目的・目標を設定し、必要に応じて見直しを行います。
4. この方針は年一回以上、社長が見直しを行います。

< 環境に配慮した取組の状況 >

● 社有車排出ガス対策

社有車の排出ガス対策を推し進めています。全社で燃費向上目標を設定し、エステムオリジナルの「エコルールチェック表」に基づく自己診断や運転状況の記録・解析をする機器「セーフティレコーダー」を活用し、社有車の燃費向上に努めています。また、大気汚染防止の観点より、ディーゼル車からガソリン車やハイブリッド車への切り替えを進めています。35期にはハイブリッド車を3台、36期には1台導入しました。

● 本社ビル電気使用量削減

省エネルギー活動の一環として、電気使用量の削減に努めています。デマンドコントローラー(平均電力を自動で一定値以下にする)導入以前の32期と比較すると、36期は料金ベースで23.1%削減しました。しかし、使用量は2.0%増加してしまいました。今後は使用していない電気機器の電源オフを徹底するなど、より一層の省エネルギー推進に努めて参ります。

削減率(本社ビル)

	実績値		削減率	
	使用量 (kWh)	料金 (千円)	使用量	料金
32期	361,510	7,270	-	-
33期	352,125	7,002	2.6%	3.7%
34期	346,985	5,844	4.0%	19.6%
35期	354,334	5,798	2.0%	20.2%
36期	368,652	5,587	-2.0%	23.1%

32期を100とした場合

● グリーン商品の購入

文具とOA機器、制服からグリーン商品の購入を進めており、品番指定のないものは、グリーン商品を購入するようにしています。全購入物品(文具等)に対するグリーン商品購入率36期実績で62.5%でした。今後も環境負荷の少ない商品の購入を推し進めます。

グリーン商品リストには掲載されていませんが、環境配慮で使用しているものがあります。

- ◆ 紙テープでとじるホチキス「ニューエスカルゴ」。金属製の針を使わない特殊ホチキスです。古紙回収の際、ホチキス針を外す手間が省けます。総務フロアに続き、他フロアでも購入を始めています。
- ◆ 補充インク。ホワイトボードマーカーや蛍光ペン、シャチハタ印はインクが少なくなったら補充して再利用しています。手間は少しかかりますが、廃棄物量が減りました。
- ◆ データ保存。容量の少ないフロッピーディスクからリムーバブルディスクへの使用に切り替えています。

● 廃棄物の100%分別実施

オフィス用紙や段ボール類、新聞紙などの紙ゴミは古紙回収を活用することで100%分別およびリサイクルを達成しています(機密書類は除きます)。その他の廃棄物につきましても、100%分別を行っています。36期は35期と比べて廃棄物量全体で2.3%増加してしまいました。今後もより一層廃棄物量削減に努めて参ります。

	単位: kg							
	金属屑 (電線)	金属付 廃プラ	廃プラ 廃ゴム	紙屑・木屑 繊維屑	ガラス屑 陶磁器屑	廃油	その他	計
33期	2,078.7	273.9	627.6	42.4	103.9	217.8	0	3,344.3
34期	1,891.6	383.8	615.1	104.0	124.9	164.2	28.0	3,311.6
35期	1,607.4	236.7	734.6	31.4	149.1	219.1	0	2,978.3
36期	1,154.3	217.3	1,323.0	67.8	118.3	135.3	30.0	3,046.0

< 環境方針の周知徹底と情報公開 >

● 環境一般教育の実施

正社員からパートまで全社員を対象に、「MESSAGE from the EARTH」(全国地球温暖化センター発行)をテキストに用い、環境一般教育を実施しました。また、社外講師の指導のもと、役職者を中心に環境について共に学ぶエコネイションゲームを実施し、考えました。今後も毎年開催していきます。

< 啓発・ボランティア活動 >

● 中国・内蒙古自治区における植林

エステムは、1996年より中国内蒙古自治区クブチ砂漠での植林活動に参加しています。36期は5名の社員を派遣しました。総勢26名のグループで植林を行いました。



参加者の声

砂漠の定義は年間降雨量300mm以下の乾燥地を言うのだそうです。しかし2003年は豪雨に見舞われ、これまでエステムで植えてきた木の一部は砂ごと水に流されていました。これも自然を相手とする植林ならではのことでしょうか。



● タイ・ナーン県における梅植林

36期より5名派遣。総勢20名のグループで植林を行いました。今後も海外での植林活動を継続していきます。

参加者の声

七夕植樹祭では式典を行い、この地で植林活動を行っている方の行動、考え方がわかり有意義な時間を過ごすことができました。

● 東三河の森での植林

年2回春と秋に東三河鳳来町つげ野の森の植林活動に参加しています。36期は4月のみ開催し、14名の社員が参加して、下草刈り・間伐・植林と昼食の給仕を行いました。今後も東三河の森での植林活動を継続していきます。

参加者の声

山や木と直接触れ合うのは初めてで、一日という短い時間でしたが、いい経験となりました。次は斜面に負けないための脚力を鍛えて臨みたいと思います。

● 木曽町の水源の森林づくり活動

36期に長野県木曽町にて水源の森林づくり活動を新たに開始いたしました。9月に19名の社員が参加し、鹿防除用ネット張り作業等を行いました。

● その他の植林活動

愛知植林ボランティア交流会にも参加し、他団体との交流・協力を図っています。

● 清掃ボランティア実施

1990年から毎週火曜日の朝礼後に本社周辺の清掃活動を行っています。

また、これとは別に1999年から「地域清掃ボランティア」を続けております。毎月一回、最寄り駅周辺まで範囲を広げて清掃活動を行っています。毎月20名程度の社員が参加しています。

長久手営業所では530運動(長久手町)に参加し、愛知万博周辺清掃を実施しました。三河上水事業所では「川と海のクリーン大作戦」に参加しています。また、安城営業所、小牧営業所、豊田事業所では、それぞれ社会貢献の一環として、地域のお祭りの設営・清掃・撤去活動等にボランティアで参加しています。

これらの活動は今後も継続していきます。

● 環境フォーラムの開催

エステムは経営理念「水を中心とする環境文化と、安全で快適な自然環境の創造を通じて社会に貢献します」に基づき、1991年から毎年環境フォーラムを開催しています。15回目となる2005年は約400人のご来場者を迎え、「企業の社会的責任」をメインテーマにエステム事例発表・講演を行いました。今後も継続して開催していきます。

< 環境方針の周知徹底と情報公開 >

● ISO14001 認証範囲拡大

2005年12月、新たに1部署でISO14001 認証取得しました。

I・S部/計装グループ



ISO 9001 認証取得
環境ソリューション部、I・S部、開発営業部、東京支店
上下水道管理部：知多事業所、碧南事業所
ISO 14001 認証取得
本社、環境ソリューション部、安城営業所、長久手営業所、
豊橋営業所、小牧営業所、浜松営業所、保綱課、I・S部
上下水道管理部：豊田事業所、サービス課、三重支店、
知多事業所、三河上水事業所 株式会社エステム三重